

広報

よもぎた

目次

- 蓬田村表彰授与式..... 2
- 新年のごとば..... 3
- みんなで考えよう省エネルギー..... 4
- 蓬田城址を訪ねて..... 5
- 村民祭..... 6～7
- いげんぼっぴょう..... 8～9
- むらのわだい..... 10
- プロフィール..... 11
- 54年産米状況..... 12
- 保健婦メモ..... 13
- 戸籍の窓口・おしらせ..... 14

NO. 129

1月

・・・ゴンゲンさま・・・

昭和55年

発行・青森県蓬田村 / 編集・広報よもぎた編集委員会

村の発展に尽くす

蓬田村の五十四年度功勞者表彰式が十一月二十四日、中央公民館で行われ、特別功勞者、功勞者、善行者、スポーツ功勞者等二十六人が表彰されました。

表彰された方々は、次のとおりです。(敬称省略します)



(特別功勞表彰の坂本大博さん)

- ▽特別功勞者
 - 坂本大博
村長十六年のほか、消防団長も永年にわたって務め、村の自治振興に寄与した功績。
 - ▽功勞者
 - 吉崎慶次郎
村議十二年、農業委員として九年の間活躍した功績。
 - 津島吉松
村議四年、固定資産評価委員十九年、行政相談員を永く務め活躍した功績。
 - 川崎長作
教育委員二年、固定資産評価委員十二年、部落長として永い間活躍した功績。
 - ▽善行者
 - 武井キノ
民生委員を十三年務め、蓬田村の子ども会の育成に尽くす。
 - 武井一郎
蓬田子ども会世話人会長として、子ども会活動の発展に寄与する。
 - 加賀美淳子
身体に障害のある友達に、献身的な世話をする。
 - 坂本真一
青森県よい歯のコンクールで入賞する。
 - ▽スポーツ功勞者
 - 蓬田中学校ソフトボール部
石岡久美子、工藤恵美子、稲葉裕美子、木村幸美、久慈恵知子、坂本好美、久保田美子、鈴木由紀子、佐井ゆき子、八戸和歌子、南真弓、久慈真喜、吉崎祐子、小鹿清美、天内真佐子
青森県中学校ソフトボール選手権大会で、二位となる。
 - 畠山春彦
第二十五回全日本中学生通信陸上競技青森県大会三種競技B個人五位、第三十回青森県中学校総合体育大会夏季大会走幅跳個人四位。
 - 第三回青森県中学生陸上競技選手権大会
ボール投
一位・坂本悦子
三位・坂本さつき
 - 円盤投
三位・越田まゆみ、田中浩幸
四位・中川康子
五位・田中張寛
 - 砲丸投
四位・越田まゆみ
 - 青森県民体育大会
砲丸投
一位・佐井斉
四〇〇m
三位・八戸武徳
八〇〇mリレー
四位・張間晶、柿崎真人、森淳一、八戸武徳
 - 一〇〇m
五位・工藤由光
一五〇〇m

五位・野藤健純
○青森県青年大会
●柔道重量級
二位・三上範夫
●四〇〇m
二位・八戸武徳
●一〇〇m
五位・森淳一
●一〇〇〇mリレー
五位・森淳一、青木昭則、越田茂弘、八戸武徳



○青森県よい歯のコンクールで入賞した坂本真一君

お母さんに尋ねましたところ、真一君は乳歯の時から、虫歯は一本もなかったそうです。

特に、甘いものを食べさせなかったとか、せっせと歯をみがいたとかはなく、ごく普通に過ごしてきたそうです。

蓬田村 長
新年のことば

住民生活に密着した
行政活動を



森 初 男

新年おめでとうございます。村民の皆さん、ご健勝のうち一九八〇年の新春をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。年頭にあたり所懐の一端を申し上げ、八〇年代の新たな決意のもとに村民の皆様、老

いも若きも相共に力を結集して、郷土の発展につとめたいと存じます。

顧みますと、昨年五月の就任以来、政治経済そして社会の全般にわたり、私にとつては誠に多事多忙な年でありました。

六月二十日、二十一日にかけての集中豪雨で蓬田川の災害をはじめとし、各部落の河川の部分的な災害で十数億円に上る被害を蒙り、それがため県関係はじめ、建設省、大蔵省に陳情申し上げましたところ、お蔭様で期待にそうよう本年度から復旧事業が実施

される運びとなりました。

更には、前任者の継続事業で村民大望の公衆浴場も、十二月一日からオープンになりました。また、ナメコ加工所、野菜集出荷所も十月完工し、順調に運営されています。

尚また、村としては草地造成事業を実施し、本年度から肉牛放牧し生産を高めるために、昨年十一月村、農協と繁殖牛三〇頭購入いたして、それぞれ飼育者のもとで管理されています。

また、漁業関係においても無線受信機の設備も八月完成し、出漁連絡に利用されています。

さて、今こそ全村民の自主的意欲とその責任において対処されなければならず、村行政上からも本年の最重要課題としてとりあげる心算でございます。

村政は村民一人一人の幸せを守ることにあることは言うまでもなく、それが民主主義の原則であり、地方自治の本旨でもあります。

私はあらゆる決定に際して、どうしたら村民の幸せを最大限に守り、発展させることができるかを真剣に考えてきました。

しかしながら、問題処理をできるだけ総合的にと考えるながらも、最善の措置をとり得ない場合もあります。何故なら、それが市町村長の限られた権限、財源等にある事は、村民の皆様もご理解して戴けると思います。

こういふ状況のもとで、村民の幸せを最大限に保障する施策を実行しようとすれば、合理的、体系的な計画を立て、

その計画に則して村政を運営していく事が一番望ましい。

従いまして、行政の需要は均衡のある所得政策が必要であり、特に当面する米対策は農畜水産業との組み合わせと転作物の定着、更には労働収益性の向上、複合経営の合理化を推進しなければならぬと思うのであります。

その他諸般の行政につきましても、わが村の村民憲章に基き役場職員と村民とが互いに一体となつて相協力し、村行政の適正な運営と発展のため一層の努力を傾注していかなければならぬと考えます。どうか村民の皆様、それぞれ一家が和合し健康で今年こそはと大きな希望のもとに、幸せなよき年でありますよう心から祈念申し上げます。簡単なから年頭のご挨拶といたします。

蓬田村 教育長
新年のことば



田 中 一 雄

教育の日常化活動を
推進します

新しい年を迎えまして、おめでとうございます。

今年もまた学校教育に、社会教育に過去の反省に立って、八〇年代を迎えるにあたり、覚悟を新たにして教育の日常化活動に、皆さんとともに推し進めていきたいと思ひます。

そのためには、関係機関、団体との連携を保ち、家庭、学校、社会それぞれの立体的な教育活動の充実。体力づくりの強化。職員の資質向上。望ましい教育環境の醸成を積極的に推進します。

学校教育については、幼児教育の重要性に鑑みて、適切な指導法の工夫と深化により能力の伸長をはかります。小・中学校の教育目標を推進

し、児童生徒の基礎学力の充実、人間性の育成をめざした課程の実施に努めるとともに、教職員の積極的研修を推進し、義務教育の全きをはかります。

社会教育については、進展する社会に対応し明るい豊かな住みよい村づくりにつながる住民意識高揚のため、生涯の各期に応じた学習の場と機会を充実するとともに、長期的計画に基き諸条件の整備に

努め、生涯教育の促進をはかります。

これらを実践するには、各関係機関、各団体、住民の大きなご支援を得てその推進を図らなければなりません。何とぞ村民皆様のご協力の程をお願い申し上げます。また、皆様のご健勝で益々ご繁栄なさいませう心から祈念して、年頭の挨拶といたします。

家庭の冬の省エネルギー対策

エネルギーって何でしょう。

エネルギーはもとも「力」「働き」の意味です。
お湯を沸かしたり、パンを焼いたりするには、ガスや電気を使いますね。
この「仕事をする力」をエネルギーと呼ぶのです。
○室温を十九度に調節を！
部屋の温度は十九度以上にしなないことを目安に、こまめな調節を行いましょ。

みんなで考えよう冬の省エネルギー



○適切な暖房機器の選択を！
暖房機器を使う場合には、部屋の用途や大きさ、使う人に合わせたものを選ぶようにしましょう。

○暖房機器のお手入れを！
石油ストーブは、燃焼部分のお手入れに心掛けて下さい。空気穴がほこりやつまっていますと、エネルギー効率が低下するばかりではなく、不完全燃

焼のおそれがあります。
○電気こたつの上手な使用を！
電気こたつは、こたつ敷きなどの上に置いて使いましょ。保温効果が上がります。また、こたつ掛けも、厚手で大きめの綿製のもが効果的ですが、軽いアクリル系のもでも手布を余分に掛けるとういでしょう。

○電気毛布の強弱に御注意を！
電気毛布を使う場合、お寝み前にスイッチを「強」に入れて、暖まってから床に入るときには「弱」にして使う方が効率的で、しかも快適な使い方です。

○太陽の恵みを！
冬でも、太陽があたればとても暖かくなります。このよくな時は、カーテンをあけるなどして、太陽熱を十分に取り入れ、暖房エネルギーを節約しましょ。

○湯沸器の使い方に工夫を！
瞬間湯沸器の口火をつけっ放しにして、時々消すのを忘れていませんか。また、お湯はたくさん使いがちですが、必要な分は、容器に取って使いましょ。

○住宅に断熱材の使用を！
新しく住宅を建てられる方または増改築をされる方は、断熱材を入れることをおすすめします。



村民“カラオケ”大会

村民祭の前夜祭として行われた“村民カラオケ大会”会場である中学校の体育館には、百人近い人が集りました。女装をして歌う人、歌にあわせてダンスをする人などなど……。

とにかく、歌のうまい人ばかりでした。

- ▲苦戦したて賞 越田希悦 曲目・ダリーング
- ▲敢闘賞 藤本力衛 曲目・あなたが欲しい
- ▲熱演賞 坂本秋子 曲目・他人船
- ▲努力賞 藤本とし 曲目・花街の母
- ▲すばらしかった賞 柿崎勝博 曲目・霧にむせぶ夜



蓬田城址を 訪ねて

倉谷弘孝

⑤

●築城完成年代は

千二百三十六年か

蓬田村史に「蓬田城址については、蓬田村沿革に記されているが、何時ころ誰によって築城されたか不明であるが、南北朝時代に強大な郷土があつて此の城を築いたものではないかといっている」とあるように、今まで蓬田城築城については伝説・推測が多かつた。

私もその伝説さ故に、何度が大館に足をはこんだ。

市浦村史資料編の安倍一族之歩椋下巻の中に「嘉禎丙申蓬田城成」とある。嘉禎丙申年は千二百三十六年である。鎌倉時代で、將軍は藤原頼経、執権は北条泰時である。同時代の城としての後潟の尻八館が、鎌倉中期から室町初頭にかけて、安東氏が居城したといわれている。安東氏は十三湊に進出したあと、卒土ヶ浜の警備と侵略者から守るために蓬田城を築いた。

今年、この資料を裏付けられるものが発見された。

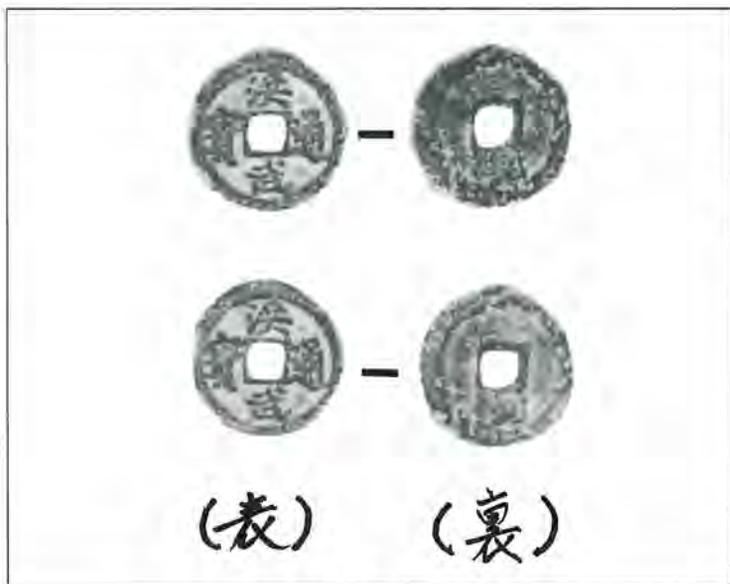
初秋のにおいがあたり立ち籠める昼近く、細谷靖信氏が息急き切つて私のところを訪ねてきた。何事かと思うと、手には古銭を握っている。図一のように、はつきりと洪武通寶と読めるものであつた。すぐに青森県立郷土館主任研究員岩本義雄氏に電話をかけたところ、中国の明の時代の古銭であることがわかつた。

その日、細谷氏はたばこの葉をとつている最中であつた。朝から太陽はたばこ畑を照りつけている。彼の友人の小松国光氏も、手伝いにきていた。一枚一枚葉をとつているうちに、きらりと光るものが目にとまつた。二人は一瞬足が止まつた。銅銭である。手にとり、じっくりながめると、これは外国の銅銭に違いないと思つた。そこで私のところまでかけつけたのである。千三百六十八年、太祖朱元璋は南京において即位し、国号を明と定め、洪武に改元し

図一 「洪武通寶」

た。即位後、洪武通寶銭を鑄造した。洪武年間、千三百六十八年から千三百九十八年まで続いた。安東氏は、幕府の許可を得て十三港を拠点に、

「尻八館からは、中国の青磁の浮牡丹文香炉や酒海壺や天目茶碗の破片のほか、中国からフィリピン方面に輸出されたのでルソン壺ともいわれ



(発見された中国、明の古銭)
細谷靖信氏・小松国光氏所有

中国と貿易をしていた。中国との貿易で莫大な利益を得た安東一族は、蓬田城、後潟の尻八館で優雅な生活をしてい

ている。褐釉の壺、白磁、青銅の宝珠、人形、古銭なども出土している。茶をひく茶臼もある。壺は、薬品や香料などを詰めて中国から輸出したも

ので、それを日本では二次的に茶壺として使つた。尻八館の主は、こんなに貴重な中国製品を所有していたのだから、経済上でも文化上でも相当進んだ生活をしていたにちがいない。(三上次男東京大学名誉教授・新陶磁の道)

尻八館と蓬田城は一体であると考えられているので、この文の尻八館は蓬田城におきかえることができると思う。細谷氏の中国の古銭の発見は、蓬田城主でもある安東一族の日明貿易の一端をかいまみることがができる。

蓬田村史に「文明四年(千四百七十二年)に相馬越前則実の嫡子相馬越前則政が(蓬田に)移り住んだことが、明らかである」とあるが、この明の銅銭の発見により、蓬田越前よりも前に、濠族、安東一族が居住していたということが裏付けられた。

尻八館では、中国銭百六十四枚出土している。その上限は開元通宝(唐)であり、下限は永樂通宝(明)である。このことから蓬田城においても、まだまだ古い中国の銅銭が発見されると思われる。

洪武通宝の発見により、蓬田城史の研究が実証的に一步進んだといえる。



見てください！この手さばき・足さばき



♪ 白樺あおぞら南風……………
♪ どうです、このかっこう似合うでしょう。



もって生まれた
定めな一ら……………

高校生・中学生の自殺が目立っていますが、あなたの家庭では子供との会話がなされてますか。

◇我が村に村民総参加の祭りを

蓬田村青年団体連絡協議会では、従来の青年祭を村民祭と名を変え、我々の一つの目的としている地域とのふれあいを考えるとき、我が村には村民が一体となって一つの場所に集り、同じものを見、同じものに笑いあえる場があまりにも少なすぎます。

現在の荒廃した社会の影響から、地域との連帯が薄れるなかで、我々独自の文化をつくり出すために、村民が一丸となって行える文化的な祭りが必要と考えるわけです。

村民祭





ディスコこきりこ節・中沢子ども会



女白虎隊・瀬辺地母親クラブ



大東京音頭・蓬田婦人会・青年会



みてください
このパチさばきを



ゴミ焼却処理場を見学して

蓬田村連合婦人会

会長・張間 千ヨ

婦人会では、この春以来ゴミの焼却処理場を見学させて下さるようになり、民生課の方へ要望してきたところでございます。それが九月二十七日民生課のおとりはからいで実現されました。会員多数参加してもらいたかったのですが、バスの人数に制限があつて四十数名が、会員の代表のかたちで見学させていただきました。焼却処理場が開業してまもなく、衛生協力委員の方々は処理場を見学してきたようでした。私もそのときのお話を聞いたことがあります。ゴミの出し方には注意していただくつもりです。

此の度の見学で、処理場で働く人たちは大変な仕事をしているのだなあと感じました。仕事の時間を割いて、私たちに焼却までの順序を説明してくれました。車で運ばれたゴミは、燃えないビンや罐は区分けして

出るゴミは一番汚い。と。一番きれいなのは、蟹田の本町から出るゴミだそうです。この話を聞き、恥づかしさと同時にこうしてはいられないという気持ちで帰って来ました。

隣近所注意しあつて、一日も早く処理場で働く人たちが蓬田のゴミは区分けがなされて仕事がいやしい、と言われるようになってもらいたいと願うものです。

私は面倒でも次にあげる四項目に、ご協力してもらいたいと思います。

- (1) 燃えるゴミは、一つの袋にまとめる。
- (2) 空きビンや空き罐は、別々の袋にまとめる。
- (3) 燃えない生ゴミ特に水ものは、袋のすみに穴をあけ、水けを出してから集取場所に出す。
- (4) ゴミの集取日以外は絶対出さない。

各家庭で以上の点を念頭にに入れてご協力下さいますなら、見学させてもらった甲斐もあろうと思います。

村民あけて、生活環境を良くするためにも、ご協力の程を切にお願いいたします。



(喜びの宮田夫妻)

優
秀
賞

◇宮田千代三郎さん
葉たばこ品評会で

十一月七日に、五所川原市の日本専売公社で行われた「青森地方たばこ耕作組合葉たばこ品評会」で、見事優秀賞を受賞しました。

青年団活動に
参加して



中村春美(蓬田)

私が青年団に入った動機は、会社に行き帰ってくる疲れ、てすく寝るといふ毎日のなかで、何か楽しいものがほしいと思つたからです。

青年団に入る前の私は、青年団とはどんな活動をしているのだろうか？青年祭、駅伝、権現様などくらいしか知りませんでした。実際はもつといろいろな活動をしているのですが、案外知られていないようです。スポーツ、廃品回収、女子研、県外研修（今回）は、青年団で活動する人たちとのふれあいを求めて、北海道に研修に行ってきました。などです。やはり、青年団の活動は、楽しく誰れでも参加したくなるような活動にしなければと思つています。

今迄のいろいろな活動を通じて思うのですが、青年団に入ったからにはいろいろな活動に積極的に参加し、何かを

得たいと思つています。

青年団に入ってまだ半年余りですが、よかつたと思つています。青年団はやすらぎと何かを与えてくれるところといえます。また、悩みや苦しみ、楽しみなどをわかちあひ、活動を通していろいろな人たちとふれあうことができました。

青年団にはいる前の私は、何をやるにしても自分から進んで行動するということがありませんでした。まして、このように意見を発表するようになることは、私自身不思議なくらいです。今では、何でも挑戦してみようという気持ちになつていきます。この気持を大切にしていきたいし、これからもどんどん活動をしていきたいと思つています。おおぜいの人たちと話しあえることは楽しいことであり、何かをやつてみることはよいことだと思つています。

みなさんも、お母さんたちには婦人会、お年寄りたちには老人クラブ、子どもたちには子ども会がありますので、このような会に参加してどんな活動してもらいたいと思つています。青年団も名に恥しないよう意義のある活動をしていきたい。「三人寄れば文珠の知恵」と言いますが、一人よりは二人、二人よりは三人

というように、多くの人たちの知恵を出すことによってよい活動が生まれ、活動を通して何かを得ることができると思つています。

青年団の集会は、昼間はみな仕事があるので、どうしても夜に多くなりがちです。そして遅く帰りがちになります。集会有一些からと家を出るとき「またいくのが」と言われ、自然に心の中に暗さをもつようになりまふ。私たちは目標をもつて行動しているのだというところ、若いうちに何でもやつてみたいという気持ちを理解してほしいのです。私たちが青年団活動を理解してもらえないのが、とても残念です。夜出歩くことがいけないことであるのは、わかっているのです。

青年団員として、お母さん方、お父さん方、近所の人たちに礼儀正しく接触し、青年団活動について知つてもらおうと努めることは、大切なことだと思つています。集会での初め終わりの「よろしくお願ひします。」「遅くなりまふした。」「ごころうさまでした。」という一言が、とても大切だと思つています。一人一人の心と心のふれあいが、私たち青年団と村の人たちとの理解に結びつくと思つています。

◇中沢農事研究会
転作で

優
秀
賞

十一月五日に弘前市で開催された県農業祭で、「青森県優良転作集団」として中沢農事研究会は、見事優秀賞を受賞しました。





しめなわ
づくり

◇高齢者教室で、今別の阿部多喜智さんを講師に、しめなわづくりの講習会が開かれま

した。
いぎつくってみると、なわがほそくなったり太くなったりで、なかなかうまくいかないようでした。

ごらんください！このいっしょうけんめいな顔を

バザー



◇村民祭に於いて、各家庭から寄せられた衣類のバザーが開かれました。
売上金は、NHKの歳末たすけあい運動に寄付されました。

税あれこれ

貯蓄と税金

私たちは、住宅の購入や病気などの思いがけない出費に備え、預金や公社債を買って貯蓄します。

これらの預金や公社債の利子は利子所得として所得税がかかりますが、一定の手続をとることによって税金がかからない制度があります。

そこで、非課税となる貯蓄の種類と金額について説明すると

①少額貯蓄の利子

預貯金や、公社債、貸付信託などの利子や収益の分配金は、一人元本三百万円まで

②少額公債の利子

国債や公募地方債の利子は、①と別わけて一人額面三百万円まで

③勤労者財産形成貯蓄の利子

サラリーマンが給与から天引されて貯蓄するいわゆる「財形貯蓄」の利子は①、

②と別わけて一人元本五百万円まで

このほか、郵便貯金の利子には原則として税金はかかりません。

また、住宅を購入するための貯蓄で一定の要件に当てはまるときは、最高三万円を所得税から差引く「住宅貯蓄控除」の制度があります。

プロフィール



勲五等瑞宝章
坂本宇三郎氏
(中沢出身)

◇氏は明治三十六年大字中沢の旧家坂本重兵衛家に、父豊吉母みねの次男として生れた。
◇愛称「松」と呼ばれ子ども頃からガキ大将であったが、中沢小学校六年生の頃樺太に渡り、同地王子製紙工場で働きながら苦学し、大学卒の資格を得る。
◇その後大望を抱いて九州にわたって日南バルブ株式会社に入社し、同社の最大の難問題であったタービン建設にあたり、三日三晩寝ずに考え見事完成させたという逸話の持ち主である。
◇このため同社では「坂本大明神」と称せられ、文字通り神様のような存在であったという。
◇現在は、宮崎県小林市商工会議所会頭のほか、一日四〇〇匹の需要があるという鯉料理食堂「出の山いこいの家」代表取締役などをとめてい

る。
◇昨秋の生存者叙勲に際し、中小企業の振興功労者として勲五等瑞宝章受彰の栄に輝きます。まず元気で活躍しており、年一回中沢にある先祖の墓参りが唯一の楽しみということである。
◇現住所・宮崎県小林市出の山公園一〇三。



公衆浴場
オープン
♨️

公衆浴場が十二月一日からオープンしました。初日の入湯者は五十人位、二日目は八十四人位と、だいに増えています。つぎに、公衆浴場を利用した人たちに感想を聞いてみました。

- シヨッパイ、でも湯上りは体がポカポカしていい気持ちだじゃ。(小学校六年の男の子)
- たいしたい湯コだ。湯から上った瞬間汗が出て。(五十歳の女性)
- 家庭風呂と一味違い、大変気持ちがいい。いい湯コです。サウナもいいなあ。(四十代の男性)
- 入浴料百円は安くもいいなあ。(四十代の男性)

なかには、入浴料は安ければ安いほどいい、という人もありました。

※公衆浴場の営業時間のお知らせ
○昭和五十四年十二月十一日から五十五年三月三十一日まで、次のとおりです。

午後一時から午後七時まで
尚、毎週月曜日は休みです。

※入浴料金

○大人・一〇〇円

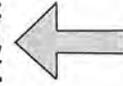
○中人・五〇円
(十二歳以上)

○小人・三〇円
(六歳まで)

(六歳未満)

五十四年 産米状況

上位等級米は
目標の七〇%を
大きく下回る



今年は、六月中の天候が良好に経過したこと、穂数及びモミ数が共に平年に比べてやや多かったこと、登熟期間の天候が、気温はやや低めであったが、日照時間が多かったため登熟歩合が予想以上に高まった。

このため、低温による影響の少なかった地帯では予想以上の増収となり、特に津軽地帯では過去最高を記録した。

しかし、当地では七月中旬から八月上旬にかけての低温により障害型不稔が発生したこと、モミ殻が小型化したこと等のためモミ数が多かった割には、一〇アル当りの収量はそれほど伸びなかった。また、当初上位等級米七〇%を目標に生産者及び関係機関が一体となり努力したものの目標を大きく下回り、十一月十四日現在二五・四%とな

っている。

このように、上位等級米が目標を大きく下回った原因については、

(1) ハマアサヒは全般的に形質が劣っており、特に光沢が失われています。これは刈り遅れからきているようです。

なお、ハマアサヒは今後品種の特性を生かした栽培管理のもとに栽培し、上位等級米の確保に努めなければならな

いようです。

(2) アキヒカリは形質は優れているのに二等に格付けされた原因は、主として胴割粒の混入からです。

(3) 胴割粒の発生原因は、脱穀時における回転数の増加によって発生する場合もありますが、特に乾燥機の使用が不適切で、急速高温乾燥などのために発生しています。

部落別	等級別数量			計	残数量	限度数量
	1等	2等	3等			
中 沢	(%) 13.6 1,506	(%) 85.2 9,439	(%) 1.2 133	11,078	738	11,816
長 科	16.5 1,879	80.8 9,204	2.7 311	11,394	1,404	12,798
阿弥陀川	20.9 1,914	77.8 7,105	1.3 120	9,139	1,427	10,566
蓬 田	39.1 4,810	60.7 7,459	0.2 24	12,293	1,170	13,463
郷 沢	15.7 764	77.1 3,752	7.2 353	4,869	1,413	6,282
瀬 辺 地	36.5 2,373	58.0 3,776	5.5 360	6,509	256	6,765
広 瀬	37.5 1,777	57.1 2,701	5.4 256	4,734	693	5,427
高 根	31.1 1,304	56.6 2,373	12.3 518	4,195	528	4,723
計	25.4 16,327	71.4 45,809	3.2 2,075	64,211	7,629	71,840

(11月14日現在・部落別等級別数量)

『広報よもぎた』 に掲載された

前村長坂本大博氏の 「住民監査に係る見解 表明」に対する反論

鈴木象一



私は昨年、地方自治法第二百四十二条第一項の規定により、蓬田村監査委員に対し、住民監査請求を行なった。この監査請求に対し、村当局は「広報よもぎた」紙上に、前村長坂本大博氏の一方的な見解を、二頁にわたりに掲載した。

この坂本前村長の見解について、私は森村長並びに遠田総務課長に対し、「広報よもぎたは、住民の血税をつかって発行されているものだから前村長の一方的見解ばかりを掲載することは不当である。森村政が真の民主的村政であるなら、住民監査請求者であ

る私の見解も坂本氏と同様のスペースで掲載すべきである」と、強く要請し続けてきたところ、九月二十日、森村長は「坂本前村長の見解表明に対する反論なら掲載を認める」と表明されたので、私は次のとおり坂本前村長の見解に反論する次第である。

一、坂本氏の「本件に関し言

われているがごとき、いまわしい疑念につきましては、全く事実無根……」という主張について、紳装問題ひとつとつてみても、深井戸掘削工事（玉松温泉）についても、坂本氏の主張される「事実無根」と称する美辞麗句が、甚だ心もとなく聞えてくると思うのである。

二、坂本氏の「何かをたくらみ、人を落し入れんがための作爲的なものである」としか思われませんか……という主張について、大変美しい言葉を列挙されておりますが、時代錯誤も甚だしいと言わざるを得ない。

そもそも住民監査請求というものは、日本国憲法並びに地方自治法によって保障された住民の直接請求権である。この権利を行使したこと

をとらえ、「人を落し入れんが為の作爲的なもの……ウンヌン……」だなんて言っているのは、いかにも思いついた発想であり、江戸時代の悪代官的政治感覚みたいなものだと批判されても仕方がないのではないかと思うものである。

三、坂本氏の「祖先の靈に誓つて身の潔白を表明する……村民各位には、決して付和雷同、流言飛語にまどわされることなく村政の明朗なる現実を信頼し……」という主張について、口先きだけでこんなことを言っても誰も信用しなれないと思う。

坂本氏が本当に潔白であるとする主張するなら、何らかの方法で表明すべきである。最後に、前坂本村長の多年にわたりに尽された功績に対しては、村民の一人として敬意を表するものであります。



保健婦メモ

ママが心配する 赤ちゃんの からだの状態

その1

◎便秘は全部病気ではない。排便には一日何回というきまりはありません。ミルクを足してみて体重が増え、排便があれば母乳不足。ときどき体重をはかってみましょう。

◎赤ちゃんの健康は顔つきでわかる。



赤くなっておれば眼科へ。のどがゼロゼロ鳴る。粘膜が過敏な体質の赤ちゃん、カゼのあと、熱もなく、せきもないのに、のどのゼロゼロでやきもきしているママさんが多いが、大きくなるにつれて消えます。◎ほつぺたのできものブツブツとちらばっているなら赤ちゃんのニキビのようなものです。ジユクジユクと湿めっているようになれば、湿疹になるおそれがあるので皮膚科へ。◎ほつぺたがカサカサ乾燥を防ぐため外出の前に、ベビークリームなどを塗る。くちびるの荒れにはハチミツを塗る。◎髪の毛が薄い・ぬける毛髪は8か月すぎるとはえかわるもの。毛をそるのはよくない。

物のかすとして捨てられるものです。多少ブツブツが入ったり粘液がまじっても、体重が増え、平和な顔つきであれば心配無用。◎目やにがでる。3か月すぎると目やにが多くなる。さかさまつげがないかしらべてみて、白目のところが

戸籍の窓口

(世帯数 1,011)
(人口 4,556)

(11月末現在)

市町村名は本籍の表示です
10月受付分

● お誕生おめでとうございます

● ご結婚おめでとうございます

- 八戸 貴行 (則康・三男)
- 川内 泰次郎 (清・二男)
- 相馬 優樹 (憲久・長男)
- 藤本 佳居 (泰吉・二女)
- 坂本 恭一 (万蔵・三男)
- 広田 智秋 (俊範・三女)
- 越田 春美 (瀬辺地)
- 木村 みや子 (平館村)

- 津島 敬光 (蓬田)
- 鈴木 千賀子 (鶴田町)
- 越田 孝彦 (広瀬)
- 佐々木 精子 (青森市)
- 青木 昭信 (蓬田)
- 村口 敏子 (川内町)
- 木浪 功 (平館村)
- 川崎 真理子 (広瀬)
- 室谷 清彦 (蓬田)
- 河村 魅香 (北海道)
- 飯田 武美 (瀬辺地)
- 今野 雪美 (青森市)

- 八戸 肇 (阿弥陀川)
- 新田 玲子 (弘前市)
- 坂本 勝教 (中沢)
- 鶴谷 うめ子 (青森市)
- 木原 葉一 (青森市)
- 豊岡 良子 (阿弥陀川)
- 太田 準逸 (蟹田町)
- 川崎 栄子 (広瀬)
- 瀬田 昭治 (三重県)
- 青木 敦子 (阿弥陀川)
- 坂本 睦夫 (中沢)
- 今野 繁子 (北海道)

● お悔み申し上げます

- 高田 キノヨ 75歳 郷沢
- 工藤 茂治 62歳 長科
- 越田 助太郎 62歳 瀬辺地
- 田中 たか 86歳 広瀬
- 福井 たか 71歳 郷沢
- 高田 美佐子 15歳 郷沢

危険物取扱者養成講習会 開催のお知らせ

日時：昭和55年1月7日～

8日。

午前9時～午後4時

30分まで。

種別：乙種、丙種

会場：青森県農業共済会館

(1)講習

第1日目、乙種・丙種とも

物理・化学

第2日目、乙種・丙種とも

午前中、燃焼及び消火に関

する基礎知識及び危険物の

性質、午後は危険物の法令。

(2)講習料

乙種・1名 4,000円

丙種・1名 3,000円
○当日、受付で頂きます。

(3)講習のテキスト代

イ、危険物関係法令集

1部、1,500円

ロ、危険物の解説

1部、1,100円

ハ、基礎物理化学テキスト

1部、200円

ニ、危険物試験問題集

1部、950円

○尚、この講習会は55年1

月11日に行なわれる試験に

先立って行なわれるもので

す。

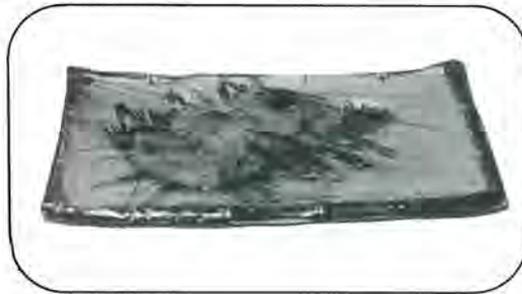
詳細は役場総務課消防係

まで。

○ 村民祭で展示

された加工食品

“ごんべー焼き”



◎ 役場土木建設課から、道路
の除雪協力について

村民の皆さんは、次の事項
遵守のうえ、ご協力お願いし
ます。

(1) 除雪期間

昭和54年12月1日～昭和55
年3月31日

(2) 道路上には障害(特に自動
車の駐車)となるものは置
かない。

(3) 道路外であっても、破損の
おそれあるものは、標識等
により危険表示をすること。

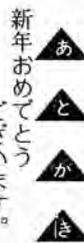
(4) 除雪のあとすぐ道路に雪を
投げ出さないこと。

各戸の出入口についても同
様、自分の家、車庫などか
ら道路敷に落ちる雪につい
ては雪止などとして防ぎ、て
きるだけ道路を確保し、付
近の状況にもよるが他人に

迷惑かけないよう最少限人
の通れる道分を確保してほ
しい。

(5) 除雪作業中は機械の30メー
トル(10メートル範囲が死
角)以内は危険ですから、
近づかないようにする。

(6) 除雪作業中のトラブル等に
ついては、お互い協力的に
解決するように願います。
(7) 路上でのスキー・スケート
はやらせないようにしてほ
しい。



新年おめでとう
ございます。

一九七九年も終りをつけ、
いよいよ八〇年代の幕あけて
す。

今冬は、石油の大幅な値上
りもあって、いっそう厳しい
冬となりそうです。

広報よもぎた新年号を、皆
様にお届けします。